

12月報告書

フランス 国立高等装飾美術学校 パリ 5 区

今月は主に授業について詳しく書きます。12月21日から1月4日までクリスマスバケーションなので、休み前のプレゼンが一気にあって忙しい月を過ごしていました。

授業は語学以外すべて3時間が一コマで1セメスター1科目12回ぐらい授業があるので日本に比べて本当に忙しいです。昼休みは一時間で授業と授業の間の休みはありません。現地の学生がいつ休んでいるのか疑問です（笑）

建築設計演習 今学期はペアで BUTRY-SUR-OISE という敷地で、家を設計します。日本と似ていて、毎週先生と話し合いがあるため進捗具合がないといけません。グループの計画によって求められるものが違うため、わたし達のペアは毎週10個模型を作っていました。詳細図面を求められている班もありました。プレゼンの様子は4枚目で載せます！

ライノ ライノの3Dの使い方を学びます。途中から設計演習で自分がしている計画のモデルを作ります。

構造 グループ課題です。Felix Candela について学び彼が用いた構造の中で一つ選び、3人で1グループになり最終的に1m×1mの範囲を覆う模型を作ります。座学授業はほとんどなく、毎週自分たちで作業します。

リプレゼンテーション 大きく二つ課題があります。1つ目が好きな映画を選んでそこから、平面図、断面図、パース、スケッチを描く課題です。映画を見てどのような部屋の配置になっているのか考えたこともなかったので、すごく難しく、いい訓練になりました。2つ目は好きな家を選び、平面図と断面図を書いて家の構造を頭に入れ、どのような表現(アクソメや平面図を着彩するなど)で書けば家の魅力が伝わるかを考え特定の表現でプレゼンします。

色彩 建築に関する色彩を学びます。途中の授業からは BUTRY-SUR-OISE の周辺の家に使われている色彩について研究してプレゼンします。

テキスタイル 2セメスター目にグループで作品を作るので1セメスターはその話し合いです。なので、留学生は話し合いに参加せずに、機械を使った編み方などを他の先生に学びます。

フランス語 2つのレベルによってクラス分けされ、月曜日と水曜日に一回ずつあります。1コマ1.5時間で、一人一人当てられる形式です。

水彩 8人ぐらいしかなくて、半分留学生です。毎週好きに作品を作ることができるので、楽しいです。先生はフランス人の方ですが、英語と中国語を話すことができるのでフランス語が流暢ではない方にお勧めです。

それぞれの教育のいい点

まず、私は国立高等装飾美術学校の教育しか経験したことがないので、フランス全体がこういう教育だというわけではありません。

前回のレポートにも書いた通り、ほとんどすべての授業が設計演習とつながっているのがとてもいいなと思いました。また、印刷も無料でできたり、3D プリンターやレーザーカッターも部屋にずっと担当の先生がいるのでライセンスがなくてもこんなものが作りたいという手伝ってくれます。そう言った面で、学ぶ機会が充実しているからか本当に優秀な生徒ばかりですし、環境が整っているので入学後もさらに伸びるだろうなと感じました。ただ、購買がないのが不便でした。スチレンボードを買いに行くのもわざわざ画材屋さんに行って家に運んでいたのも、寮を選ぶ際は画材さんの場所も見たい方が良さかもしれません。(どうやって印刷するのか？ 模型材料はどこで買えばいいのか？ から始まるので模型はいつもの2倍ぐらい時間がかかります。)

あとは、講評の時に「いいね!」「すばらしい!」と褒めることから始める先生が多かったのが印象的でした。今までの作業をまず褒めてくださってからアドバイスがもらえるのもっと上を目指そうという気持ちになりました。(これは人によるかもしれませんが笑)私は褒めてくれる家庭と学校で育ったので、大学に入った初めの2年間はそれがほとんどないことにギャップを感じて苦しんだことを覚えています。大学に入って、身近に褒めてくれる存在がいなくなったことで苦しかったですが、自分で自分のことを褒める術が身に付きました(笑)今では勉強なので、褒めることは一概にいいことだとは言えないことを理解していますが、褒めるこの学校の方針はやっぱりいいなと思いました(笑)どちらが正しいはないと思いますが、フランスの大学にもとんでもなく優秀な人が多く、みんな褒められても胡坐をかくことなくずっと努力しているので、間違いではないなと思います。

宿題の量について

結論から言うと本当に多いです…ほとんど毎週すべての授業で宿題が出たりプレゼン準備があります。月曜日・火曜日は19時、水曜日は20時、金曜日は16時に授業が終わり、ほかのあいている日は日本の授業の課題とフランスの授業の課題で追われていました。ですが家で一人でやってもフランスにきた意味がないので、パリのカフェに行ったり友人の寮の学習スペースなどで一緒に勉強していました。

インターンシップについて

フランスに来る前はインターンシップに参加しようと英語のポートフォリオも準備していましたが、フランスの大学の規則で30単位とらなければいけなく遅い日は20時に授業が終わるので、現実的にできませんでした…。週に一日だけでも受け入れてくださる事務所があれば本当に参加したかったです。去年インターンシップに日本で参加した身からすると座学よりも何倍も学びになるので、参加できる人は参加したほうが良いです!(大きな

声では言えませんが30単位取らなければいけないといっても留学生は自分の単位が大丈夫であれば途中からドロップアウトしている留学生も多かったのでそうすればインターンにも参加できたしな…と後悔しています。)

奨学金について

私は現在2か所から給付型奨学金をいただいています。フランスは特に建築の模型材料や画材などが高く痛い出費があるので本当に助かっています。私は日本で貯金したお金を旅費に当て、普段の生活費や家賃、模型材料などに奨学金を当てています。(5か月で必要なお金は家賃生活費すべて込み、旅費は含めず110万円ほどでした)金銭面的に不安があると、勉強に集中できないので、留学を考えている人は奨学金も同時に準備を進めたほうが良いです！デザイン学部の人にはコンペやインターンシップ経験など強みがあるとよりいいので、まだ留学まで1年ほど余裕がある人はその準備も始めたほうが後々楽かもしれません。

フランス式あいさつ「ビズ」はする!?

フランスは頬を片方ずつ合わせながら口で音を鳴らす挨拶があり、パリは2回右頬から頬を合わせます。(地域によって3,4回のところがあります。基本的に男性同士はしません)ですが、学校など毎日会う友達はやらないので、実際にしたことはありません(笑)別れ際にビズをする代わりに「ビズー！」といっている友人が多いです。別れ際の挨拶は定番の「サリュ」のほかにも「チャオ」という場合もあります。

来月はいよいよ最後のレポートです。私が住んでいた寮を紹介する予定です。パリ生活も残りわずかになってきたので、やりたいことをリストアップしています。最近朝早起きして出来立てのバケットを買いに行くという事をしました(笑)とっっっっってもおいしかったです！後悔がないように残り一か月少しを過ごそうと思います。ご覧いただきありがとうございます。

12月

2週間のパカンスでドイツに行ってきた!!
建築を沢山見て来ました②

建築のアレセン

夜のヴェルサイユ

スーパー



表現がチームによつて全くちがうのでおもしろかったです!!
17分〜20分の長い講評でした...



中も美しいですが、ライトアップされた外観はより美しいです!!



どのスーパーにも沢山のワインがあるのか、フランスらしくて好きです!!

テキスタイルの授業



自然の染料で染めました!!



オペラ座

リネ子までにオペラのチケットを購入して見たいです!!!

3年の建築でDIYしたプレゼント交換をしました!!
友達がカエルをくれました!!

クリスマスプレゼント交換



カフェに入ると2000円ほどします...



課題のストレスで週に2回ぐらい韓国料理を食べに行ってます!!



日本ではアルバイトで生ないネイルに初挑戦!!



アメリカへ戻る友人を見送るため、他の友人がアルバイトしているカフェへ行きました!!

ドイツ Stuttgart
世界最大のクリスマスマーケット



グロイセンホーフ・ジナルンフ
ドイツ



サン・ジュリアン・ド・テ・デ・ラ・サント
フランス